

林業技術センター
普及班便り
(第33回)

いわての林業人 12

一 はじめに

今月は、住田町の佐藤元幸さんをご紹介します。



さとう もとゆき
佐藤 元幸さん

二 人物紹介

「プロフィール」

佐藤さんは住田町の生まれ。

お父さんが代表を務める有限会社佐藤木材に勤務されています。

佐藤さんは小さい頃から山に慣れ親しんできたそうで、お父さんと大型トラックに乗って山へ行き、お父さんの仕事が終わるまで山で遊んで待っていたとのこと。

小中学校は住田町内、高校からは仙台の学校に通っていたそうで、仙台での学生生活の後、家の仕事を継ぐために地元へ帰り、入社されま

した。

平成13年度にはグリーンマイスターの資格を取得、平成20年度には岩手県が育成している「地域けん引型林業経営体」のプラン認定を受けています。林業に真摯に取り組まれています。

佐藤さんは小学生のころから野球をされていたそうで、現在でも住田町内のチームに所属して大会に出場されているとのこと。試合もさることながら、試合後の反省会での交流が楽しみだそうです。

また、佐藤さんは独身だそうです、お嫁さん募集中!とのこと。



作業ポイントでの
プロセッサ造材作業

三 仕事の状況

(1) 初めての仕事

佐藤さんが入社したころは、まだ

資格を取得していなかったため、玉

切りした丸太の並べ替えやトラクタの荷掛け作業など、体を酷使する仕事ばかりだったとのこと。仕事を始めて1カ月ほどは夕食後すぐ就寝、「気が付いたら朝」という毎日だったそうですが、ずっと家の仕事として林業を見ていたせいか、不思議と仕事に嫌にならなかったそうです。

現在では様々な資格を取得し、プロセッサのオペレーターとして作業現場での造材・はい積み作業等に従事され、現場作業のプロフェッショナルとして活躍されています。

(2) 会社の仕事

有限会社佐藤木材は、素材生産が主な業務となっています。以前は広葉樹チップ材を取り扱っていたそうですが、現在ではスギの用材が主体で、気仙管内の製材所や大型工場などに出荷しているとのことでした。

高性能林業機械を活用して効率よく仕事し、山主さんへの還元を少しでも多くすることが目標だそうです。

(3) 今後の目標

佐藤さんに今後の目標を伺ったところ、良い山を次世代に残したいとのこと。

ご自身は子供のころから山に親しみ、都会での生活を経たことで山の素晴らしさを再認識されているようですが、現代の子供たちは山に触れ合う機会が減っていると感じているそうで、何か自分ができることがないか模索中とのことでした。

ご自身のことよりも次世代を案ずる佐藤さんの姿から、林業に生きる人間の大きさ、懐の深さを感じました。



はい積み作業

四 おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられましたらご連絡ください。

林業技術センター普及班